

フロンティア・スピリット 団体戦ルール

● 小学生団体（先鋒・中堅・大将の3名1組）トーナメント制とする

1、 試合時間

試合時間は先鋒・中堅・大将、各1分30秒とし、延長戦（代表決定戦）は大将のみ1分30秒で行う。

ルール

○一本勝ち

- ① 反則箇所を除いて、突き・蹴り・打ちなどを瞬間的に決め、相手をK.O.した場合。
- ② 上記の攻撃により、相手の戦意を5秒以上喪失させた場合。

○技あり

- ① 反則箇所を除いて、突き・蹴り・打ちなどを瞬間的に決め、相手をダウンさせ、相手が4秒以内に立ち上がった場合。
- ② 技ありを2本先取りで一本勝ちとする。
※ 各トーナメントについては、的確に蹴り技が顔面をとらえた場合、ダウンしていなくても技ありとする。

○判定

- ① 時間内に一本勝ちで決着がつかない場合、原則として試合終了時に技ありを取得している選手を勝者とする。
- ② 両方の選手に技ありがない場合や、両方の選手が技ありを取得している場合、判定を行う。判定は双方の技の優劣、スピード、気迫、ダメージの度合いを基準におこない、三氏審判のうち二名が旗を挙げた選手を勝者とする。
- ③ 判定にて決着がつかない場合、大将戦（代表決定戦）1分30秒を行う。大将戦引き分けの場合は体重判定（3名の合計が軽い方が勝ち）で勝敗を決する。

○反則

- ① 拳、肘、貫手、手刀、頭突きなどによる顔面殴打、首への殴打及び、全ての金的への攻撃。
- ② 相手をつかんでの攻撃。
- ③ ダウンした相手に対する直接の突き、蹴り。
- ④ 以上のほか審判員が特に反則とみなした行為。
- ⑤ 主審および他の審判員が反則とみなしたとき、主審の判断で注意1～4を与え、注意4でその選手は失格とする。

○失格

- ① 主審判断により、特に悪質な試合態度とみなされたとき。
- ② 試合中、審判員の指示に従わないとき。
- ③ 注意が4に達したとき。

○注意

- ① ヘッドギア、拳、すねサポーターの着用を義務づける。
- ② フェールカップ、ヒザサポーターは任意着用とする。
- ③ 上段への膝蹴りは禁止する。